

平成26年2月19日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成25年度 第2回三部会合同部会

◆ 2月19日(水)、美しい多摩川フォーラムの平成25年 第2回 三部会合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成26年2月19日(水) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：会長、部会長、運営委員、アドバイザー、会員等

◎ 三部会合同部会の概要

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 講話 (テーマ) 大栗川の環境整備について～地域住民と連携した河川の緑化事業の推進～
(講師) 東京都建設局南多摩東部建設事務所
事務所長 星野 宏充 氏
4. 経過報告 ※はビデオ放映
 - (1) 公益財団法人とうきゅう環境財団・「2014年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究(「多摩の物語」関係)」助成金交付要望申請書提出(12/12)【資料1】※
 - (2) 「エコプロダクツ2013」においてフォーラムを紹介(12/12～14)【資料2】
 - (3) 第6回・多摩川子ども環境シンポジウムの開催(12/14)【資料3】※
 - (4) 公益財団法人とうきゅう環境財団・「助成調査・試験研究の概要に関する中間報告書」及び「2014年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究(「多摩川一斉水質調査」関係)」助成金交付申請書提出(1/8)【資料4】
 - (5) 東北・夢の桜街道推進協議会への拠出について(1/24 運営委員会)【資料5】
 - (6) 平成25年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)(1/24 運営委員会)【資料6】
 - (7) 第6回・美しい多摩川フォトコンテスト審査結果(2/3)【入選作品展示】
 - (8) 第1回・多摩川酒蔵街道ワーキング・グループの開催(2/24)【資料7】
 - (9) 第6回・美しい多摩川フォトコンテスト入選作品展&野尻明美氏の淡彩スケッチ画展(3/18～23：青梅市立美術館)【資料8】
 - (10) 第2回・桜守学校開催(3/26)【資料9】

- (11) 美しい多摩川フォト教室開催 (4/12) 【資料 10】
- (12) 多摩川夢の桜街道・桜の札所巡り事業 【資料 11】
 - ①4/4：羽村・福生・昭島の「駅からハイキング」～美しい多摩川フォーラム、JR東日本、西武鉄道、多摩モノレール
 - ②4/5：川崎・大田の桜の札所巡り～美しい多摩川フォーラム、大田観光協会、大田区、川崎市、東京急行電鉄、京浜急行電鉄、ダニエル・カール副会長
 - ③4/9：高尾・多摩森林科学園の桜ウォーキング～美しい多摩川フォーラム、京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守
 - ④4/16：奥多摩の桜の札所巡り～美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守
- (13) 東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業（東北・夢の桜街道推進協議会）【資料 12】
 - 5/1：第3回“美しき桜心の物語”の語り会（五十九番・盛岡城跡公園、岩手県盛岡市民文化ホール～語り部・平野啓子副会長）

5. 意見交換

- (1) 平成26年度事業計画骨子・同予算について 【資料 13】
- (2) 「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」の今春の旅行商品等について 【資料 14】

(3) その他

6. 部会長総括

7. 閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成25年度第2回三部会合同部会を始めさせていただきます。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介いたします。

（近畿日本ツーリスト株式会社 首都圏西団体旅行支店 支店長 平沼 知己 様）

平沼と申します。本日は、担当の馬場と一緒に参加させていただきました。よろしくお願ひいたします。

（国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所 河川環境課

地域連携係長 尾崎 武志 様）

尾崎と申します。事務所長が所用で都合つきませんでしたので、代理で出席いたしました。よろしくお願ひ申し上げます。

2. 部会長挨拶

(細野会長)

皆さま、こんにちは。平成25年度・第2回三部会合同部会でございます。今日は、東京都建設局南多摩東部建設事務所長の星野宏充様をお迎えし、「大栗川の環境整備について～地域住民と連携した河川の緑化事業の推進～」というテーマでお話をいただきます。非常に沢山の議題になっておりますので、これで話を終わりにして、マイクを平野副会長に渡したいと思っております。

(平野副会長)

先日、多摩120周年の記念シンポジウムに、美しい多摩川フォーラム副会長という立場で参加しました。この団体の確かさが、多くの人に滲みて行くように、知れ渡っていくんだなというのを感じましたし、また、この時初めてこの団体のことを知った、ご登壇された他の先生方も、「大変良いことをやっているね」と、打ち合わせの段階から褒めていただき、身の引き締まる想いでした。今日も皆様からの多くのご意見をお待ちしておりますので、よろしくお願ひいたします。

(渡邊部会長)

朝日新聞に記事が載っていましたので、ご紹介いたします。2月16日に、「水環境みんなで調べ10年」という記事です。小倉副会長が「全国一斉水質調査」を発足させ、10年経ちます。現在は、全国で860団体、5400地点で調査が行われ、マップ化されています。美しい多摩川フォーラムも、2008年から多摩川一斉水質調査を始め、今年度は第6回目でした。その他、文部科学省のメルマガにも、「全国一斉水質調査」のことが書かれています。この事業が全国的な展開になっていることをご報告して、挨拶に代えさせていただきます。

3. 講話

(事務局)

はい、今日は、東京都建設局南多摩東部建設事務所長の星野宏充様（ほしのひろみち）様を講師にお迎えし、大栗川の環境整備について～地域住民と連携した河川の緑化事業の推進～というテーマで、お話をいただきます。フォーラム会員の皆様には、多摩川およびその水系に関する現状認識や問題意識を高めていただけたら有り難いと存じます。

それでは、星野事務所長様、よろしくお願ひいたします。

(東京都建設局 南多摩東部建設事務所長 星野 宏充 様)

ご紹介いただきました、星野と申します。本日はお招きいただき、有り難うござい

ます。今般は大雪で、私どもが所在する町田も、50センチ以上積り、まだ除雪作業を行っている状況です。加えて、奥多摩や檜原においては、孤立状態にあり、大変な状況でお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧をお祈りしております。私ども建設事務所の主な任務は、河川や道路の整備と管理です。本日こういった席でお話させていただくのも、河川の環境整備の一環という形でご参考になればと思います。

それでは、大栗川の環境整備について、お話をさせていただきます。大栗川は、多摩川水系の一級河川です。多摩川水系の他に、真光寺川・鶴見川で構成される鶴見川水系、また、東京都と神奈川県の間を流れる境川は独立水系で、どこにも属していません。これを南にたどると、江の島の橋に流れ着きます。南東建は、町田・多摩・稲城を所管しており、これら全ての川を管理・整備しております。

本日の議題の大栗川ですが、八王子市鏈水を起点とし、多摩川に向かって流れています。多摩市連光寺のあたりで乞田川と合流し、多摩川に流れ込みます。全長約15kmです。この河川は、もともと、かなり蛇行した河川でしたが、多摩ニュータウン開発に合わせ、今のような広い河川に整備されました。今回の事業化区間は、大栗橋と宝蔵橋の区間約1.4kmで、平成21年度～27年度で整備する計画を立てております。河川は基本的に、下流から上流に向かって整備を進めます。そもそも昭和42年当時は、多摩ニュータウン開発の関連事業の一環で、蛇行していたものをまっすぐに整備しました。しかし、当時の整備内容は、コンクリートの平板を主体とした護岸工事だったため、趣に欠けた、面白味の無い河川整備の形態でした。また、当時からすでに30年が経過しており、川底の洗掘も進んでおり、再整備する必要性がありました。特に、平成20年8月末の豪雨により、護岸の一部が決壊し、再整備の緊急性が高まりました。

そのような現状を鑑み、大栗川を再生することになりましたが、これは、東京都の長期計画『「10年後の東京」への実行プログラム』の水と緑のネットワーク整備という形で位置付けています。本来、河川の整備については、防災性が主になるのですが、それだけではなく、川辺・水辺の環境面も見直すことになりました。合わせて、国の「かわまちづくり」計画（参考：国土交通省・地域の景観、歴史、文化等を活かし、地方公共団体や地域住民との連携の下で、河川空間とまち空間の融合が図られた良好な河川空間形成を目指す取組である「かわまちづくり」を、治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備等を通じて支援する「かわまちづくり」支援制度）事業の認可も受け、ダブルの事業で進めることとなり、「安全に配慮しつつも住民の意見を反映した」事業を推進することとなりました。

国土交通省所管の「かわまちづくり」制度は、東京都（河川管理者）、地元行政（多摩市）、地元住民等の3者が連携・協働していくものです。まず、多摩市との間でタタキ台となる素案を作成し、地元住民にお示ししました。その後、素案に対する住民の色々な意見を取り入れた形で設計を進めました。設計後、再度住民

にお示しし、意見交換をし、計画に反映させ、成案化しました。こういったプロセスの経過は、地域住民の河川への想いや過去の歴史的な経過について、相互の意識の高まりに繋がり、非常に有益な事業であったと思います。今回は5～6回の意見交換会を開催しましたが、主な住民の意見としては、「桜並木を作ってほしい」「コンクリートが目立ちすぎないように」「途切れずに遊歩道を散策したい」「水面まで下りられるような護岸を」「ホテルが復活するような川に」というものでした。それらの要望を分類化・整理し、「緑化（擬石ブロック、張芝）」「景観（木工沈床）」「親水性（親水階段）」の3点で取り組むことになりました。

なお、桜並木については、根張りが強く、舗装を持ちあげてしまい、管理し辛いのですが、地元の強い要望と、「聖蹟桜ヶ丘」という地名の由来もあり、植栽することを前提に、根張りの問題を解決することになりました。1本あたり、幹から半径2m、地表から深さ1mの範囲内で防根シートを設置し、桜を植えました。

一部区間施工後、意見交換したところ、地元住民からは、「夏の暑さが和らぐ」「遊歩道や階段で水に親しみやすくなった」「きれいに整備されて気持ちがいい」といった感想をいただきました。反面、「ソメイヨシノ以外も植えてほしい」「桜の木の上にベンチを置いてほしい」「階段の蹴上を低くしてほしい」などの意見もありました。これらの意見については、次の整備で改良していきたいと思っています。

大栗川では、地元の子どもが川でいかだ下りをするという祭があります。この事業が完了したあかつきには、更に地域の賑わいの場として活躍してくれることを期待しております。今後とも頑張ってまいりますので、ご支援をよろしく願います。ご静聴有り難うございました。

（事務局）

星野様、有り難うございました。皆様から何か質問などがございましたらどうぞ。

（井上様）

整備後どれくらい経つのでしょうか。

（星野様）

今の区間は、整備後3年になります。

（井上様）

いくら景観は素晴らしくても、生き物がいるかどうかの問題です。事業前と後とで、昆虫や魚の状況にどのような変化があったのでしょうか。

(星野様)

地元のご意見・ご要望でも、「ホテルが復活するような川に」とありました。物理的な整備はきちっとやってまいりますが、生物の復活は多少時間がかかると思っています。草地や陸上の生物については、だいぶ増えてきたと聞いています。また、カワセミなどの鳥が来るようになったようです。これから更に追跡調査をしていきたいと思えます。

(井上様)

補足をさせていただきますが、最近空き地があります。昔の空き地には雑草が生え、バッタなど色々な生物がいました。しかし今の空き地のほとんどは駐車場などに舗装され、虫が居なくなりました。過去に行政が取り組んでいた事業は、余り生き物に関心がなかったようですが、最近はそうではないようなので、今後もそういった観点で改修事業に取り組んでいただければ、子孫も喜ぶと思えます。

(小倉副会長)

大栗川をはじめ、都市河川の宿命なのですが、平常時の水量が非常に少なくなっております。今後、流域全体の環境を総合的に考えていただくようなことも期待しておりますので、よろしく願いいたします。

(渡邊部会長)

話を伺ったところ、地元住民の皆さんの意見が上手く事業に取り入れられているようですが、私も市民団体として川と関わりを持ってきており、他の建設事務所にも意見を言っても、なかなか取り入れてもらえないのですが、建設事務所さんによって対応が違うのでしょうか。また、改修完了後の管理は大変だと思いますが、地元がやるのでしょうか、それとも市または都がやるのでしょうか。

(星野様)

私どもの所管する事業を含め、他の管内でも、理想的に進んでいるところとそうでないところがあるのは事実です。相互理解を深めるには、可能性のあるものと、難しい部分の共通認識を持つことが大事です。例えば、「水車を作ってほしい」という要望など、法制度上出来ない要望もあります。昔ながらの景観を復活させたいという気持ちは分かるのですが、そういう部分は、丁寧に説明をすることで理解を得るようにしています。土地柄かもしれませんが、南多摩は、古くから住んでいる住民が多く、新しい住民の方と一緒に意見交換をすることで、住民同士が上手く融合し、意見がまとまったのではないかと思います。また、大栗川は、国の「かわまちづくり」という新しい制度の事業採択を受けたことで、当事務所のパイロット的な取り組みに

なっていたこともあり、上手く機能したのではないかと思います。また、管理については、地元のボランティアや地元市が清掃などのイベントを開催するなど、積極的に川に関わっているのが、良好に維持されています。

(事務局)

お時間の関係で、質疑応答を終了します。星野様、大変有り難うございました。

4. 経過報告

(事務局)

それでは、経過報告に移ります。12月の活動部会以降の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。まずはじめに(3)番をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(1) 公益財団法人とうきゅう環境財団・「2014年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究(「多摩の物語」関係)」助成金交付要望申請書提出(12/12)【資料1】

- ・【資料1】をご覧ください。2014年度の案件として『「多摩の物語」(民話・昔話)の掘り起し調査と“語り”の実演』という題目で申請しました。これは、平成23年度～平成24年度の2年に亘り、農林水産省関東農政局の交付金事業として、グリーン・ツーリズムの一環で「多摩の物語」の完成発表会を開催しましたが、多摩川上流域だけでなく、多摩川中・下流域の各地域に古くから伝わる民話や昔話の掘り起しを行い、“語り”実演による発表会を開催しようというものです。同時に、安心・安全な暮らしに欠かせない防災の必要性について、“語り”を通じて訴えていきます。「多摩の物語」は小冊子にまとめ、公民館や図書館ほか教育関連施設等に配布し、地域の人々に普及させていこうというものです。なお、助成金決定は3月に通知される予定です。本件につきまして、平野教育文化部会長、一言お願いします。

(平野副会長)

災害などの困難があった時に、それを生き抜いた人々の話には、後世に伝えるべき教訓が沢山あると思います。それらを掘り起こして伝えることで、先人が残してくれた心の宝物を継承できると思います。しかし、心だけで減災はできません。昔に比べて科学技術の発達によって生活環境が変わると、いざという時の非難の方法から全て

優先順位が変わる場合があります。昔のままの知恵をそのまま伝えて良いのか検証し、未来に繋ぐことを考えると、暮らしの変遷が、他の色々な分野にも力を発揮していく源になると思います。「多摩の物語」については、以前から減災についてやりたいと思っていたのですが、去年は「食」を中心にまとめていました。今度は防災を中心に掘り起こして、ひとつの物語にしていきたいと思っています。

(2) 「エコプロダクツ2013」においてフォーラムを紹介 (12/12~14) 【資料2】

- ・【資料2】をご覧ください。フォーラム会員のカシオ計算機(株)様では、昨年12月12日~14日に東京ビッグサイトで開催された国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2013」に出展され、3年連続で美しい多摩川フォーラムの活動について、ご紹介をいただきました。

(4) 公益財団法人とうきゅう環境財団・「助成調査・試験研究の概要に関する中間報告書」及び「2014年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究(「多摩川一斉水質調査」関係)」助成金交付申請書提出 (1/8) 【資料4】

- ・【資料4】をご覧ください。本件につきましては、渡邊環境清流部会長にご説明をお願いします。

(渡邊部会長)

これは、2013年度の報告書です。内容は、後ほど資料をお読みください。多摩川の上流から下流75地点で、今まではCODを用いて測定をしていましたが、それに加え、電気伝導率、硝酸態窒素、リン酸態リンの測定を行い、1年目の結果が書かれています。測定結果は、資料7ページ~9ページにありますので、後でお読みください。この結果から、下水処理水が放流される所から、COD、電気伝導率、硝酸態窒素、リン酸態リンの値が急激に高くなり、廃水処理水が完全にきれいになっていないことが分かります。以上です。

(5) 東北・夢の桜街道推進協議会への拠出について (1/24 運営委員会) 【資料5】

- ・【資料5】をご覧ください。1月24日の運営委員会において、第1号議案：「東北・夢の桜街道推進協議会への拠出について(案)」が承認されました。これは、昨年3月14日に開催された当フォーラム運営委員会において、青梅信用金庫より当フォーラムに副賞の50万円が寄贈されましたが、当フォーラムでは、今年度も東北・夢の桜街道推進協議会を通じて、東北復興支援事業を実施しており、副賞50万円につきまして、同協議会に拠出するもので、2月7日付で事務処理を行いました。

(6) 平成25年度事業計画骨子・同予算（事務方素案）（1/24 運営委員会）【資料6】

- ・【資料6】をご覧ください。1月24日の運営委員会において、第2号議案：平成25年度事業計画骨子・同予算（事務方素案）が承認されました。後ほどの意見交換において、ご説明させていただきます。

(7) 第6回・美しい多摩川フォトコンテスト審査結果（2/3）

- ・今回の作品応募点数は、「多摩川の風景・人々部門」が187点、「多摩川夢の桜街道部門」が93点で、合計280点の応募があり、昨年に比べ13点ほど応募点数が増えました。審査結果ですが、「多摩川の風景・人々部門」、「多摩川夢の桜街道部門」の各部門において、最優秀賞が1点、優秀賞が1点、入賞が3点選ばれました。また、佳作が「多摩川の風景・人々部門」より15点、「多摩川夢の桜街道部門」より5点選ばれました。この審査結果は、美しい多摩川フォーラムのホームページに公開しておりますが、本日は上位の作品を持参し、サイドのテーブルの上に並べておりますので、後ほどどうぞご覧ください。

(8) 第1回・多摩川酒蔵街道ワーキング・グループの開催（2/24）【資料7】

- ・【資料7】をご覧ください。来週24日に、多摩川酒蔵街道の開設に向けたワーキング・グループを開催いたします。小澤運営委員が座長を務め、メンバー全員が参加する予定です。

(9) 第6回・美しい多摩川フォトコンテスト入選作品展&野尻明美氏の淡彩スケッチ画展（3/18～23：青梅市立美術館）【資料8】

- ・【資料8】をご覧ください。今年も、青梅市立美術館において、青梅市、青梅市教育委員会様のご後援をいただき開催されます。皆さん、ぜひ足をお運びください。

(10) 第2回・桜守学校開催（3/26）【資料9】

- ・【資料9】をご覧ください。昨年度に続き、今年度も第2回桜守学校を都立小金井公園で開催します。3月1日に、後援の公益財団法人東京都公園協会様、小金井市様のご協力により、小金井市報、フォーラム・ホームページに実施内容を掲載し、募集案内を開始する予定です。

(11) 美しい多摩川フォト教室開催（4/12）【資料10】

- ・【資料10】をご覧ください。美しい多摩川フォトコンテストは今年度で第6回を数え、応募者及び作品にマンネリ化傾向が見え始めました。そこで、第7回目となる来年度以降、活性化を図り発展させていくため、フォトコンテスト審査員よ

り新たな企画としてご提案いただいたもので、来年度試行的に実施したいと存じます。現在、青梅市様に後援申請中で、フォーラム会員のサンケイリビング新聞社多摩本部様のご協力により、リビング多摩の3月8日号に募集記事が掲載される予定です。

(12) 多摩川夢の桜街道・桜の札所巡り事業【資料 11】

- ・【資料 11】をご覧ください。今年も様々な事業を開催する予定です（詳細は下記参照）。なお、毎春、平野副会長にご出演いただいている「多摩川夢の桜街道～桜の札所における語り会」につきましては、平成26年度は、多摩川中下流域での開催を予定しており、時期的には3月末頃が最適となります。そこで、平成26年度につきましては、年度末に当たる平成27年3月末頃を予定しておりますことをご報告いたします。

- ①4/4：羽村・福生・昭島の「駅からハイキング」～美しい多摩川フォーラム、JR東日本、西武鉄道、多摩モノレール
- ②4/5：川崎・大田の桜の札所巡り～美しい多摩川フォーラム、大田観光協会、大田区、川崎市、東京急行電鉄、京浜急行電鉄、ダニエル・カール副会長
- ③4/9：高尾・多摩森林科学園の桜ウォーキング～美しい多摩川フォーラム、京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守
- ④4/16：奥多摩の桜の札所巡り～美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守

実際にコースを下見された大谷桜守に一言お願いします。

(大谷桜守)

先日、雪が降る前に下見をしてきました。「奥多摩のむかし道」は、ネーミングが素敵で、多くの方が関心を持つと思います。4月中旬であれば、ちょうど山桜がきれいだと思います。楽しみながら、桜の大切さや川のことを伝えていきたいと思います。よろしくお願いします。

(13) 東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業（東北・夢の桜街道推進協議会）【資料 12】

5/1：第3回“美しき桜心の物語”の語り会（五十九番・盛岡城跡公園、岩手県盛岡市民文化ホール～語り部・平野啓子副会長）

- ・【資料 12】をご覧ください。今年も、盛岡で語り会を開催し、平野副会長にボランティアでご出演いただきます。後ほど意見交換会でも説明させていただきますが、3月1日から募集を開始します。皆さんもぜひ、東北復興支援事業の一環と

して、足を運んでいただければ幸いに存じます。

(細野会長)

以上で、事務局からの経過報告および当面の予定について、説明がありましたが、ここまで、ご質問等ございますか。ないようでしたら、意見交換（１）について、事務局より説明をお願いします。

4. 意見交換（部会長）

(1) 平成26年度事業計画骨子・同予算について【資料13】

(事務局)

- ・ 【資料13】をご覧ください。これは、1月24日の運営委員会でご承認いただいた【資料6】の（事務方素案）をベースに、その後さらに見直しを進め、今回の（案）に改めた資料になります。まず、平成26年度事業計画骨子・同予算（案）ですが、収入は、会費2,400,000円を含め、合計で13,518,935円となります。一方支出の分ですが、運営費は総会370,000円を含め合計4,070,000円、活動費は多摩川夢の桜街道～札所巡り700,000円を含め合計8,736,500円、次期繰越金（見込額）712,435円を加えると、支出合計は13,518,935円となります。なお、網掛けの「美しい多摩川フォト教室」と「多摩川酒蔵街道事業」は新規事業となります。「美しい多摩川フォト教室」については、予算10万円を予定していますが、美しい多摩川フォトコンテストの賞金引き下げも検討しています。最優秀賞5万円については、他のコンテストと比較すると、高いのではないかという意見もあり、その金額を引き下げることにより、「美しい多摩川フォト教室」に充当できるのではないかと考えています。
- ・ 次ページ「平成26年度事業計画骨子（案）の主な実施内容について」をご覧ください。経済・環境・教育文化のカテゴリ別に事業をまとめています。経済については、②多摩川酒蔵街道が実施されると、春＝多摩川夢の桜街道、夏＝大人のカヤック体験教室、秋＝多摩川酒蔵街道となり、冬を除いた季節ごとに柱の事業が確立されます。
- ・ 次ページ「平成25年度事業予算執行実績（1月末時点）」をご覧ください。この中で、当初予算から上ぶれしているものについて説明します。まず、運営費の事務雑費ですが、封筒購入と老朽化したビデオカメラを買い替えたため、上ぶれています。次に、活動費の多摩川教育河川事業ですが、多摩川子ども環境シンポジウムが過去最高の参加者数となり、参加賞の費用や交通費の加算、また、当初は予定していなかった「多摩川の歌」発表に伴い、ピアノ調律費用なども加わったため、上ぶれています。また、炭焼き窯改修ですが、窯が老朽化して穴が

空いてしまい、改修工事を実施しました。また、多摩の物語ですが、当初はA4もしくはA3での印刷費として計上していましたが、実際に中身を検討していく中で、内容が充実したほか、A5サイズのほうが携帯しやすいということになり、ページ数が大幅に増えたため、上ぶれています。最後に、東北・夢の桜街道運動ですが、運営委員会で承認された拠出金が上乗せされた金額となっています。以上で説明を終わります。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。

(藤井様)

今回の東京都知事選挙で、舛添さんが選ばれました。選挙活動中は、多摩地区にもかなり来ていたようです。また、公約として、多摩地区担当の副知事を設置すると言っていました。これは、大いに期待できます。多摩地区の発展には、交通網の整備が不可欠です。東西は繋がっていても、多摩地区の南北は整備されていません。多摩モノレールによって1/6は繋がりましたが、5/6は計画段階です。舛添さんに頑張ってもらい、早期の全線開通を目指してもらいたいです。予算が無いのであれば、路面電車にするなど、我々も提案していくべきです。

(細野会長)

他にご質問やご意見はありませんか。ないようであれば、(2)について、事務局より説明をお願いします。

(1)「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」の今春の旅行商品等について

【資料14】

(事務局)

- ・ 東北・夢の桜街道推進協議会の事務局という立場でご説明申し上げます。まずは【資料14】の1枚目をご覧ください。これは、今春のPRポスターです。特徴的なのは、協議会メンバーが、昨年春に比べて11先増え、計33先となっています。運動の裾野がかなり広がって来ています。また、後援先の中で、信用金庫が多いのですが、スタート当初は270金庫中116金庫(約4割)でしたが、昨年は211金庫(約8割)、今年は全金庫(267金庫)が後援することになりました。各信金の全営業店約7,500店舗に、1月中旬～4月末まで、このポスターを一斉に掲示し、PRに務めます。
- ・ 次ページ「東北・夢の桜街道運動によるソーシャル・イノベーションの進め方」をご覧ください。今までは、「経済」の支援を中心に運動を進めてきましたが、

今後は、東北の地元も連携・協働して運動を進めていくこととし、新たに「環境」軸と「教育文化」軸を加えました。「環境」軸では、生態系に配慮した桜の植樹・維持再生活動を行います。早速、昨年11月に、岩手県釜石市の津波被災地において、公益財団法人日本花の会や地元のボランティアで20本の植樹を行いました。「教育文化」軸では、昨年春、トライアルで、東北27金庫中10金庫において、子どもを対象とした桜の絵画コンクールを開催しました。福島信金さんでは、作品が1,000枚も集まり、嬉しい悲鳴だったようです。子どもたちに、地元の魅力ある桜に気づいてもらい、郷土愛を育んでもらいたいと思います。さらに、単に桜の札所を巡るだけではなく、今春から、札所近くの「食の逸品」制度も導入します。地元の産業に関わるようなことも加えています。また、運動を支えるICT戦略も加え、富士通さんに「東北桜旅ナビ・システム」を無償で開発していただいています。このナビ・システムには、桜の札所を効率的に周るためのルートガイドに加え、開花情報や食の逸品情報も検索できるようにし、公式ホームページと組み合わせることによって、桜の名所巡りが更に楽しくなるようにするもので、4月1日のカットオーバーを目指して準備中です。また、資料右側の当面のスケジュールの3月に、「桜の札所のパネル展開催」と記載がありますが、これは、本日ご出席の東急電鉄さんが、二子玉川駅前の大型展示施設で、東北・夢の桜街道のパネル展を、他のイベントと同時に開催します。最後に「経済」軸ですが、新たな動きをご紹介します。今までは、「旅で支える東北復興」として、「桜の語り会」、「旅行商品造成」、「スタンプラリー事業」を中心に盛り上げてきましたが、国内の旅行需要だけでは支援の継続に限界があることに気づき、今春からは、台湾を中心とする東アジアの方々に訪日してもらう「東アジア・インバウンド誘客事業」を展開するべく、昨年来から関係筋に根回しを進めてきました。すると、1月14日に、観光庁が「台湾の訪日旅行促進のための春シーズンプロモーション事業」として企画競争入札を公示しました。中身を見ると、入札の応募条件として、「特に、東北・夢の桜街道については、重点的に取り上げる」とあり、我々事務局も驚いてしまいました。政府自らが、税金を使って、「東北・夢の桜街道」を台湾でPRするという公共的な事業になっています。「東北・夢の桜街道運動」は、10年間継続していくと宣言しておりますが、ちょうど東京オリンピックが開催される2020年とほぼ同じ到達点となり、政府と歩調が合います。少し大げさかもしれませんが、日本の成長戦略の一つとして、東北や日本復活の有力モデルとしてこれを発展させていきたいと考えています。4枚目の資料は、明後日から台湾でスタートする観光庁のプロモーション事業の目玉案件として、台湾の地下鉄で、「東北・夢の桜街道」のラッピング車両が実際に走ります。この運動が、2年ちょっとで進化しているということです。なお、テーブルには、各旅行会社が企画した桜旅のパンフレットを配布しましたので、

ご旅行の際は、ぜひご参考にしてください。

- ・ ここで、本日ご出席の近畿日本ツーリストさん、東急電鉄さんからPRも兼ねて一言お願いします。なお、本日出席しておりませんが、はとバスさんからも盛岡での語り会を含めた東北のバスツアーのチラシをいただいておりますので、ご覧ください。

(近畿日本ツーリスト 馬場 様)

弊社では、本社の協力により、首都圏から出発する「東北・夢の桜街道」2泊3日の商品造成を行い、チラシを作成しました。このチラシが、弊社の各支店数十カ所の店頭と並んでいます。4月29日発で77,700円となっています。ぜひ皆様にもご参加いただければ有り難いと存じます。

(東急電鉄(株) 小林 様)

弊社では、3月9日に、二子玉川ライズショッピングセンターにおいて、東日本大震災復興応援チャリティイベントを開催します。本年度3回目となります。内容は、フラワーチャリティや豚汁の炊き出し訓練、チャリティコンサートなどです。イベントの収益金は、みちのく未来基金へ、震災孤児に対する義援金として贈る予定です。その会場内に、今回初めて「東北・夢の桜街道」のパネル展コーナーを作り、PRをします。駅の乗降客は10万人いますので、多くの方に運動を知ってもらえればと思います。

(事務局)

5月1日に、平野副会長が盛岡で桜の語り会を行います。はとバスさんや阪急交通社さん、あるいはJTBさんが語り会を含めたコースを企画していますので、ぜひよろしくお願いいたします。では細野会長、よろしくお願いいたします。

(細野会長)

夢のような話でしたが、皆さんのほうで何かご意見、ご質問があればどうぞ。台湾のPRはいつからいつまでやるのでしょうか。

(事務局)

車体広告は、今週の金曜日(3月20日)までです。その他、新聞広告、サイト立ち上げ、乗降口でのパネル展などを行います。また、成田国際空港の第1、第2ターミナルそれぞれにおいて、「東北・夢の桜街道」をメインにした展示を行うことになっており、観光庁や東北運輸局からデータを貸してほしいなどの連絡が入っています。

(細野会長)

有り難うございます。サンケイリビングさん、何かご質問などはありませんか。

(サンケイリビング新聞社 石河 様)

お話を伺い、国際的な運動になってきていることが分かりました。事務局のご努力が実を結ぼうとしており、感銘しました。

(事務局)

大変恐縮ですが、本日ご出席の国土交通省 尾崎様、ご感想やご意見がございましたら、よろしく願いいたします。

(国土交通省 尾崎 様)

こういった会議には、今日初めて参加しましたが、以前から情報は宮坂さんを通じて伺っておりました。私どもは川の中の部分を専門にしており、こういった広域的な資源を活用したものは素人ですが、宮坂さんをはじめ、皆さんのご努力により、こういった資源を有効に活用され、活性化を図られていることに感銘を受けております。私も参考させていただきたいと思います。

(細野会長)

有り難うございました。他にいかがですか。無いようでしたら、部会長にそれぞれ総括していただきます。

5. 総括・閉会（部会長）

(平野副会長)

本日も、皆さまからの貴重なご意見をいただき、勉強になりました。冒頭では、星野様より大変分かりやすいご講話をいただきました。その中で、「地元の人たちが、今ある河川を取り巻く環境がどうやって出来あがってきたのかというプロセスを知りながらやるのが大切だ」とおっしゃり、非常に感銘を受けました。先人が積み重ねてきたことを知らずに、次のことに繋げていけないと思っています。私は、美しい多摩川フォーラムに途中から入会しましたので、前の方たちがどうやってこのフォーラムを立ち上げたのかを知ってから行動するのと、知る前に行動するのでは、全く違いますし、私自身の発言も違ってきています。今後も、最初に立ち上げた人の気持ちや、全てのものについて今どうしてこうなっているのかを合わせて、先に進んでいきたいと思っています。また、今日は、国土交通省の方も貴重なお時間を割いて、わざわざお越し下さったことに感謝を申し上げます。有り難うございました。

(渡邊部会長)

平成26年度の事業計画の中で、環境清流部会の事業は5つあります。26年度もどうぞよろしく願いいたします。

(小倉副会長)

今日は、色々なご意見をいただき、有り難うございました。まず星野様からのご講話は、市民の意見を取り入れながら河川を整備するというので、今後の河川整備のモデルになるのではないかと期待しています。また、フォーラムの事業は、今後も様々な事業が予定されていますが、特に「東北・夢の桜街道」については、まさに夢のある計画で、今後大きく発展することを期待しています。本日は有り難うございました。

(細野会長)

フォーラムは7年目を迎えます。我々の目的は、交流人口を増やすことですが、春の桜の札所、夏のカヤック、秋の酒蔵街道まで決まりました。後は、冬どうするか、ですが、会員の皆様から引き続き、良いアイデア等をいただきますよう、よろしく願いいたします。これで、平成25年度・第2回三部会合同部会を終了します。有り難うございました。

以 上